

安全データシート (SDS)

1 化学品及び会社情報

製品名	: 日本薬局方 リン酸水素カルシウム水和物
会社情報	
会社名	: 協和化学工業株式会社
担当部署	: 品質保証課
住所	: 〒761-0113 香川県高松市屋島西町 305 番地
電話番号	: 087-841-9156 (代)
Fax 番号	: 087-844-2170
緊急連絡先番号	: 087-844-2154

2 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

爆発物	: 分類対象外
可燃性／引火性ガス	: 分類対象外
エアゾール	: 分類対象外
支燃性／酸化性ガス	: 分類対象外
高压ガス	: 分類対象外
引火性液体	: 分類対象外
可燃性固体	: 区分外
自己反応性化学品	: 分類対象外
自然発火性液体	: 分類対象外
自然発火性固体	: 区分外
自己発熱性化学品	: 区分外
水反応可燃性化学品	: 区分外
酸化性液体	: 分類対象外
酸化性固体	: 区分外
有機過酸化物	: 分類対象外
金属腐食性物質	: 区分外

健康に対する有害性

急性毒性 経口	: 分類できない
経皮	: 分類できない
気体	: 分類対象外
蒸気	: 分類できない
粉塵およびミスト	: 分類できない
皮膚腐食性／刺激性	: 分類できない
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	: 分類できない
呼吸器感作性または皮膚感作性	: 分類できない
生殖細胞変異原性	: 分類できない
発がん性	: 分類できない
生殖毒性	: 分類できない
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: 分類できない
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: 分類できない
吸引性呼吸器有害性を引き起こす物質	: 分類できない

環境に対する有害性

水生環境有害性：急性	: 分類できない
慢性	: 分類できない
オゾン層への有害性	: 区分外

GHS ラベル要素

絵表示 : なし
注意喚起語 : なし
危険有害性情報 : なし
注意書き : なし
他の危険有害性 : 情報なし

3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 化学物質

組成および成分情報

	化学名又は一般名	CAS 番号	官報公示 整理番号 (化審法・安衛法)	濃度又は 濃度範囲 (wt%)
成分 1	リン酸水素カルシウム	7789-77-7	1-183	100

分類に寄与する不純物 : 情報なし
及び安定化添加物 : 特になし
その他情報 : 特になし

4 応急措置

以下の処置後、必要に応じ医師の診察を受ける。

吸入した場合 : 必要に応じて空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。

皮膚に付着した場合 : 水又は石鹼水で洗い流す。

眼に入った場合 : むやみに目を擦らずに、速やかに清水で洗い流す。
コンタクトレンズを着用の場合、容易に外せる場合は外し、洗浄を続ける。

飲み込んだ場合 : 口をすすぐ。
大量の場合は水を飲ませる。ただし、無理に吐かせないこと。

最も重要な急性および遅発性症状 : 吸入：粘膜を刺激して咳が出ることがある。
皮膚：長時間付着したままの状態では肌荒れすることがある。
眼：粘膜を刺激することがある。
経口摂取：少量は影響ないが、大量の場合、悪心嘔吐することがある。

応急措置をする者の保護 : 救助者は必要に応じて適切な保護具を着用すること。
医師に対する特別な注意事項 : 特になし

5 火災時の措置

適切な消火剤 : 本製品は可燃性固体でない。周辺の状況に応じた消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤 : 特になし

特有の危険有害性 : 特になし

特有の消火方法 : 特になし
周辺状況に応じた対応を行う。

消火を行う者の保護 : 消火作業に適切な保護具を着用すること。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	: 漏出時の処理を行う際には、眼や皮膚との過度の接触及び吸入を避けるため、適切な保護具を着用することが望ましい。 回収を行う場合は風上から作業すること。
環境に関する注意事項	: 河川、下水道、土壌等に排出、拡散されないように注意すること。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	: 掃き集める等で回収すること。 回収後、関連法規に従い適切に処理すること。
二次災害の防止策	: 特になし

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	: 「8. ばく露防止及び保護措置」を参照し、適切な保護具を着用することが望ましい。
局所排気・全体換気	: 必要に応じて換気を行うことが望ましい。
安全取扱い注意事項	: 眼、皮膚との過度の接触および吸入を避けること。 「8. ばく露防止及び保護措置」を参照し、適切な保護具を着用することが望ましい。

保管

技術的対策	: 保管場所には取扱いに必要な採光、照明および換気設備を必要に応じて設ける。
適切な保管条件	: 屋内、床上に保管し、高温多湿を避けること。 吸湿性があるので開封状態で放置しないこと。 吸着性があるので揮発性または臭気のするものに近づけないこと。
混触危険物質	: 「10. 安定性及び反応性」を参照。
容器包装材料	: 特になし

8 ばく露防止及び保護措置

管理濃度	: 設定されていない。
許容濃度	
日本産業衛生学会(2014)	: 区分3 吸入性粉塵 2 mg/m ³ 総粉塵 8 mg/m ³
設備対策	: 必要に応じて取扱い場所の近くに手洗い設備等を設置する。 必要に応じて換気装置を設置する。
保護具	
呼吸器保護具	: 防塵マスク
手の保護具	: 保護手袋
眼の保護具	: 保護眼鏡、ゴーグル型保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	: 保護服(長袖作業衣)
衛生対策	: 取扱う時に飲食または喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 保護具は定期的に点検すること。

9 物理的及び化学的性質

外観	: 白色の結晶性微粉末
(物理化学的状態、形状、色など)	
臭い	: 情報なし
臭いの閾値	: 情報なし

pH	: 情報なし
融点・凝固点	: 1230°C
沸点、初留点及び沸騰範囲	: 情報なし
引火点	: 情報なし
蒸発速度	: 情報なし
燃焼性	: 情報なし
燃焼範囲の上限・下限	: 情報なし
蒸気圧	: 情報なし
蒸気密度	: 情報なし
比重（密度）	: 2.2
溶解度	: 水に殆ど溶けない、鉱酸に溶解する。
n-オクタノール／水分配係数	: 情報なし
自然発火温度	: 情報なし
分解温度	: 情報なし
粘度	: 情報なし
その他の情報	: 情報なし

10 安定性及び反応性

反応性及び化学的安定性	: 通常の取扱い条件では安定である。
危険有害反応可能性	: 情報なし
避けるべき条件	: 高温多湿
混触危険物質	: 強酸類
危険有害な分解生成物	: 特になし

11 有害性情報

急性毒性（経口、腹腔内）	: 情報なし
急性毒性（経皮）	: 情報なし
急性毒性（吸入：気体）	: GHSの定義における固体であるため分類対象外。
急性毒性（吸入：蒸気）	: 情報なし
急性毒性 （吸入：粉じんおよびミスト）	: 情報なし
皮膚腐食性／刺激性	: 情報なし
眼に対する重篤な損傷性 ／眼刺激性	: 情報なし
呼吸器感作性／皮膚感作性	: 情報なし
生殖細胞変異原性	: 情報なし
発がん性	: 情報なし
生殖毒性	: 情報なし
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	: 情報なし
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	: 情報なし
吸引性呼吸器有害性	: 情報なし
その他	: 情報なし

12 環境影響情報

生態毒性	: 情報なし
残留性・分解性	: 情報なし

生物蓄積性	: 情報なし
土壤中の移動性	: 情報なし
オゾン層への有害性	: モントリオール議定書の付属書にリストアップされている成分を含まない。
他の有害性	: 情報なし

13 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 廃棄においては、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従うこと。
汚染容器および包装	: 容器は関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行うこと。

14 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送	: ADR/RID の規定に従う。
海上輸送	: IMO の規定に従う。
航空輸送	: ICAO /IATA の規定に従う。

国連番号	: 非該当
国連分類	: 非該当
輸送品名	: 非該当
容器等級	: 非該当
海洋汚染物質	: 非該当

国内規制

陸上規制情報	: 道路交通法に従う。
海上規制情報	: 船舶安全法に従う。
航空規制情報	: 航空法に従う。

輸送時の特定の安全対策 および条件	: 輸送に際しては、容器の破損、腐食、漏れのないことを確かめる。 落下、転倒、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に 行う。 その他関係法規の基準に従い輸送を行う。
----------------------	--

緊急対応時指針番号	: 非該当
-----------	-------

15 適用法令

化審法	: 非該当
労働安全衛生法	: 非該当
毒物及び劇物取締法	: 非該当
化学物質排出把握管理促進法	: 非該当
消防法	: 非該当
海洋汚染防止法	: 非該当
航空法	: 非該当
船舶安全法	: 非該当
輸出貿易管理令	: 輸出貿易管理令別表第一の 16 項
水質汚濁防止法	: 非該当
医薬品医療機器等法	: 製造専用医薬品

16 その他の情報

各国登録情報

TSCA 登録	: 無し
EC 番号	: 無し
DSL 登録	: 有り

参考文献：

- ・ Globally Harmonized System of classification and labeling of chemicals, (5th ed., 2013)
- ・ NITE CHRIP
- ・ NITE GHS 分類データ

【注意】

本 SDS は JIS Z 7253:2012 と JIS Z 7252:2014 に従い作成したものです。

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。

本製品は、この製品安全データシートをご参照の上、使用者の責任において取り扱って下さい。

また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。